



野々市町文化協会 だより

第 19 号

発行人
野々市町文化協会会長
内村 栄一
事務所
野々市町教育委員会文化振興課内
野々市町字三納18街区1番
TEL. (076) 227-6121



「あいさつ」

野々市町文化協会
会 長 内村 栄一

成夏を迎え、皆様方おかれましてはいかががお過ごしでしょうか。

野々市の春を告げる椿まつりは、「椿と文化が広がる 新都市づくり」をメインテーマに、野々市町の新しい都市づくりを創造し、つばきの花をイメージした4本のモニメントを繋ぐように、高低差のある2本のアーチがクロスして人々が行き交う広場を作成し、お客様をお迎えいたしました。

また会場内では、椿に関する数多くの催し物を開催し、多数のお客様にご来場して頂きました。ここに関係各位に改めてから厚くお礼申し上げます。有難うございました。

なお、文化協会も本年が20周年の節目にあたり、さらに加盟団体の連携を密にし、より幅広く、より質の高い活動ができるよう、努力を惜しまぬ所存でございます。今後とも、町民の皆様方をはじめ町当局並びにご関係の方々のご理解とご支援をお願い申し上げます。



THE 17th CANEDIA FESTIVAL



花と緑ののいち 椿まつり 2006 『椿と文化が広がる 新都市づくり』



加盟団体一覧	団体名	代表者	設立年	会員数	団体名	代表者	設立年	会員数
	1 野々市じょんから節保存会	久保 昇	昭和35年	60名	10 読書会連絡協議会	魚住 慧子	昭和61年	28名
	2 菊花協定会	南 憲志	36年	30名	11 社交ダンス愛好会	山谷 光輝	61年	43名
	3 椿愛好会	宮崎 昭男	49年	61名	12 民謡協定会	山口 正昭	平成元年	90名
	4 美術文化協定会	北 清志	52年	77名	13 俳句協定会	奥村誠一路	3年	41名
	5 音楽文化協定会	朝倉 喜裕	52年	250名	14 茶道協定会	安田 光男	5年	92名
	6 華道協定会	若島 翠節	53年	94名	15 短歌協定会	香城 清子	7年	21名
	7 盆栽愛好会	星場 外也	54年	30名	16 能楽愛好会	富田 孝	16年	48名
	8 囲碁協定会	西永 正雄	57年	130名				
	9 将棋協定会	鮎谷久太郎	58年	110名	計			1,205名

加盟団通信

じょんから節保存会

盆踊り一千年の伝統芸能「野々市じょんから節」を習得してみませんか。(町内外のイベントに出演有り)踊り、唄、三味線、笛、太鼓の部門に分かれ親切に指導します。

希望の方は、
小川二四八―三五一―または
粟二四八―一〇八九―まで
活動紹介■日

米文化交流の一環として昨年三月にハワイホノルルフェスティバルに参加する。

活動紹介■じょんからKIDS(児童生徒)の指導育成も三年目、今年九名が仲間入りし総勢三十名のオーケストラとなります。四月から「あさぎ返」にもチャレンジしています。今年の「じょんからまつり」が初舞台になります。



菊花協会

菊づくりへの誘い

会員の高齢化が進み、最盛期の半数近くなりましたが、みんな協力し合って伝統ある協会を守り、菊作りを楽しんでいます。皆さん菊作りは難しいと思っ
ていませんか。確かに難しい面もあります。しかし、最近では誰でも簡単に作れるスプレー菊や、ドーム菊が流行っています。気軽にこれらの菊から初めてみませんか。

当協会では、苗の分譲や、講習会を開いて菊作りの手助けをしています。



椿愛好会

町花木「椿」の制定とともに歩んできた当会は、椿を通して花と緑の町づくりに取り組んで来ました。

町内の椿調査、椿(野々市)の育苗等多くの事業に取り組み、その成果を挙げて来ました。

これからも更に、椿を通した町づくり、社会づくりに努め椿十徳に掲げる「謙遜の徳」にあるように花が咲けば目をみはる椿を愛して行きたい。



美術文化協会

年間行事として、七月には「町美術展」十一月には「文化協会展」三月には「椿まつり」と町民の皆様と共に文化の香り高い町づくりをめざしています。

又、年一回の研修旅行で

会員の親睦を図り日本画、洋画、彫刻、工芸、書、写真の各部会は新しい歴史を歩んでいこうと頑張っています。



音楽文化協会

さらなる活動の場を求めて

協会発足以来二十八年、音楽的なジャンルは違えど各々に積極的な活動を展開している十二の団体と個人会員の人々。

当会では会員個々の自主性を重視し、最

小限の決め事で最大限のパフォーマンスをする。「事をモットーに相互に協調し、時にはコラボレーションし、楽しむ事はもちろんの事、少しでも質の高い表現ができるように日々活動の場を求めて練習に励んでいます。「音楽の街ののいち」を目指してこれからも邁進します。



華道協会

会員数九十余名の華道協会は年三回の花展、親睦を兼ねた研修旅行等を今年も計画しています。

五月下旬に全員花展を開催し、無事終了しました。今年は、長年にわたって当協会の

会長でありました中山会長を偲ぶお花も、会場に生けさせて頂きました。二日間で約八百名もの大勢の方々に見て頂き、うれしく思い感謝しております。

来年の三十周年記念に向けて、それぞれの流派の伝統を大切に、心に触れるお花をと努力いたします。



盆栽愛好会

小品盆栽のすすめ

盆栽は小品 中品 大型盆栽と樹高により大別され、背丈20センチ以内の樹を鉢に入れた盆栽を小品盆栽と呼んでいます。大型盆栽は50センチ以上のものを言いますが、趣味として入門される方は小品盆栽から始めるのが良いでしょう。

その利点は ①盆栽が軽くて持ち運びが楽で置き場所が少ない面積で済むこと。②植え替えなどの際、水やりの水など少量で済むこと。③実生、挿し木等により素材の確保が容易なこと。古木感が少ないが短期間で觀賞でき、素材も安価で入手できる。などが上げられます。高齢化時代の今、体力にも適し、経済的負担も少なく小品盆栽に人気があるのもうなづけますね。

盆栽は決して贅沢な趣味ではありません。さあ、一緒にやってみませんか。加入申込は248-1946 星場外也迄



囲碁協会

碁は楽しいものですよ。

勝っても 負けても楽しいね、観戦してもね。

初対面の人でも、打ち終ると十年來の友だちになること請け合いだね。

毎週の土曜の晩と日曜の午後

に中央公民館でパチリとやっています。

初心者大歓迎。年会費は千円。小中高生無料。

第一回県内市町対抗囲碁大会に五人一チームの十五人で、出場し健闘しました。



将棋協会

例会は中央公民館和室で、A級からC2級に分かれてのリーグ戦です。将棋を趣味として認知症防止や知能開発のほか、棋力試しにも愛好者が楽しんでます。

子供と高齢者が真つ向う対戦で頭を突き合わせている情景はほほ笑ましく、年齢差を超えたコミニケーションです。

「第19回県下野々市将棋大会」が9月10日10時から文化会館小ホールで開催されます。将棋愛好家のご参加を歓迎しています。(写真は町子連40周年記念フェスティバル将棋コーナー)



俳句協会

俳句の愉しさと向上

本協会は俳句愛好者が会派を超えて親睦と向上を目指す会です。

年間の主な行事は、二月の新年句会、三月の椿まつり俳句展示、六日の總會・吟行会、八月のじよんから祭俳句大会、十一月の文化祭俳句展示などです。

俳句会では顧問の三先生の進句と指導が受けられます。

六月の吟行会は金沢市大野町の醤油蔵・史蹟などを吟行し、句会では橋本当志子さんが会長杯を受賞され、皆さん俳句を作られました。

町内の各会派でまだ入会されていない方は進んで入会されることを切望しています。また若い愛好者の入会も歓迎しています。



読書協議会

人と自然、そして本との出会い、私たち読書会員はこれらの出会いを心から楽しみにして居ます。各グループでの毎月読む課題図書、読書協会の合同読書会、マナビイフェスタと椿まつりの講演会、更に一年の大きな行事である文学散歩といゆる計画をたて会員同志の親睦を深めて居ます。今年も芭蕉の館・無限庵・蘇梁館と足を運びゆつくりと一日を過しました。

また、我が石川県には三文豪といわれる偉大な作家に恵まれ、ふる里再発見へとつなげて居ます。一冊の本から歴史や文化に触れ作者の考え方や生き方を知り、人生の糧にできることを幸せに思っております。

茶道協会

茶の歴史

茶の原産地は、中国の雲南省地域とされ、今から二千年前、四川省の成都で茶のことに記した文献が発見されています。

八世紀に、遣唐使により初めて日本に茶がもたらされたと考えられます。九世紀の初頭、嵯峨天皇の時代、日本の歴史に茶の記事が初めて登場する。

十二世紀末、臨済宗栄西により中国の宋代の新しい茶の製造法がもたらされる。

十四世紀、茶は寺院から武家社会へ、さらに庶民へと広がる。十六世紀後半に入り、千利休により「わび」すなわち「茶道」が成立し、現代に至る。

お茶を楽しみながら、日本のすばらしい伝統文化と美術工芸品に触れて見ませうか。



社交ダンス愛好会

社交ダンスは最近、映画やテレビで馴染みになり、素適な魅力に關心が高まっていますね。

社交ダンス愛好会はダンスを愛する仲間が、明るく楽しい雰囲気の中で活動しています。音楽に合わせて体を動かすと、気分が爽快になりますよ。人の輪が広がり、笑顔がはじける愛好会は、新しい仲間が増える事を願っています。

〔活動案内〕

- ♪定例レッスンスムアルブレッシン 毎火曜午後7/30/初級 午後8/40/中級
- ♪行事 野々市町公民館
- 年2回チャリティイベント 3月椿まつりステージ
- スロー・スロー・クイック・クイック。どうぞ、気軽に見学、体験してみませんか。お待ちしております。



短歌協会

短歌を作ってみませんか

短歌協会が結成されて早や十二年が過ぎようとしています。

定例会は三ヶ月に一回、吟行、講習会は年に一回、椿まつりにも参加して会員の親睦を楽しんでいます。

今年の吟行は能登中島方面へ行ってきました。

国指定重要文化財もあり、梓旗祭りは全国でもここだけしか見られない有名な祭りです。万葉の歌碑もあり古き時代をしのぶことができます。

また近代的な劇場として有名な能登演劇堂へ行ってきました。素晴らしい建物で感動しました。

短歌に興味のある方のご入会を会員一同お待ちしております。



民謡協会

唄は良いもの

来る八月二十日(日)、フオルテ大ホールで第十八回の発表会「民謡まつり」を開催致します。大変暑い時期ですが、私ども一生懸命頑張りますので、ぜひお越しください。唄は人から人へ、長い期間をかけて変化してきましたが、そんな歴史を考えると瞬間的ですが、一種のロマンを感じることがあります。

又、唄によつて色気が、あるいは勇壮に、唄い方、感情の入れ方も違い、大変奥の深いものがあります。中央、富奥、押野、郷には唄の教室が、そして、中央、富奥、郷には民舞の教室があります。

各公民館に問い合わせ頂ければ、対応致しますのでお気軽にどうぞ。



能楽愛好会

能楽愛好会はお蔭様で発足三年目を迎えました。(文化協会加入は二年目)

十一月十二日には第三回目の成果発表会が予定されております。野々市公民館、郷公民館、太平寺謡会の各サークルにおいては、愛好会発展の原動力となるべく着実に活動が行われて

おります。「謡十五巻」を紙面の都合で全てを書き尽くせませんが、ご参考に三つご紹介いたします。

一、行かずして名所を知る

二、習わずして歌道を識る

三、恋せずして美人を懐く

「忙中閑あり」としての効能がある様ですね。



野々市町 文化協会表彰 文化活動の功労功績をたたえる



●平成十七年度文化協会表彰贈呈式が十一月三日(文化の日)文化会館ホールにて挙行され、次の七氏に表彰状と記念品を贈り、それぞれ功労、功績をたたえました。(敬称略)

〔文化振興賞〕

中山 栄 華道協会会長として会の発展に多大な貢献。

〔文化奨励賞〕

古源 和子 茶道協会役員として会の運営に多大な貢献。

橋本 志子 俳句協会役員として会の企画・運営に多大な貢献。

北川 和江 菊花協会役員として会の運営に多大な貢献。

北川 愛子 民謡協会役員として会の発展に多大な貢献。

米尾 好美 短歌協会役員として会の企画・運営に多大な貢献。

栗 よし子 じよんから節保存会役員として会の運営に多大な貢献。

〔教育功労表彰〕

酒井 幸雄 第六十一回現代美術展委嘱賞受賞。

わが協会にこの人あり ☆加盟団体を支え活躍中の方や、「期待の星」の方を紹介するコーナーです。



囲碁協会
片岸 哲夫さん

長年にわたり協会を支え続けられる片岸さんをご紹介します。
得意のパソコンを使つての各種行事の記録をはじめ面倒を煩してあります。
特筆ものは、最も公平といわれるスイス方式による野々市方式の「人数別と対局回数別」を考案されたことですね。
大会の運営で頭が痛いのは、参加者全員が均等な対局数をこなし、総順位の設定と予定時間内に事務局も対局して終えられるが、これを解決したのが、人数別と対局回数別の対戦表を準備することです。

抽選と同時に対局者は、回数別の相手が確することから事務局の時間が省け事務局も対局参加が可能になりました。来年には古希を迎えられますが、囲碁二段の棋力向上と後進の指導対局をご健康にご留意されながらのご活躍をお祈りしております。
源野辰一



将棋協会
事務局長 窪田 弘さん

事務局長の窪田さんは、からだが大きく大らかで陽性の半面、税理士事務所勤務の職業柄繊細な神経でこまかいところまで気配りして、お世話をされている。

文化協会の椿まつりでは将棋コーナーや売店の売り子はじめ各行事に積極的に参加。また県将棋連盟の理事として毎年全タイトル将棋戦の成績記録を集録されている。

毎年、入退会員は転勤、就職、進学等二十名を超える。ので、会員同士の顔と名前が一致しない中で、入会受け付けと、初心者指導担当の窪田さんを知らない者はもぐりである。

ちびっ子から、「先生」、「おじちゃん」と呼ばれると目もいっそう細くなりうれしそう。

平成17・18年度 野々市町文化協会役員

職名	氏名	所属団体	職名	氏名	所属団体
顧問	安田 彦三	野々市町長	常任理事	大橋 節子	俳句協会
	徳野与志一	野々市町議会議長		安田 光男	茶道協会
	栗 貴章	石川県議会議員		香城 清子	短歌協会
	田中 宣	野々市町教育長	理事	中川 敏三	能楽愛好会
	帆苅 宏典	前文化協会会長		瀬戸 幸代	じよんから節保存会
参与	二又 米造	前文化協会副会長		綾間 義明	菊花協会
	丸山 順孝	前文化協会副会長		北 時子	椿愛好会
	北 清志	前文化協会理事長		後藤 映芳	華道協会
会長	内村 栄一			村上 茂	盆栽愛好会
副会長	鮎谷久太郎			西永 正雄	囲碁協会
	奥村誠一路			窪田 弘	将棋協会
	山口 正昭	民謡協会		北岡 富子	読書会連絡協議会
理事長	山谷 光輝	社交ダンス愛好会		中村トシ子	社交ダンス愛好会
副理事長				中村 三朗	民謡協会
常任理事	朝倉 忠雄	じよんから節保存会		小林 清	俳句協会
	南 憲志	菊花協会		酒井喜和江	茶道協会
	宮崎 昭男	椿愛好会		中西名菜子	短歌協会
	新 富士	美術文化協会		村上 慎市	能楽愛好会
	山本 晃彦	音楽文化協会	監事	又多 好子	美術文化協会
	若島 翠節	華道協会		前田 昌信	音楽文化協会
	星場 外也	盆栽愛好会	幹事	高見 重任	
	源野 辰一	囲碁協会		宮前 定明	
	朝日 朝日	将棋協会			
	魚住 慧子	読書会連絡協議会			

平成18年度 主な事業計画

月日	事業名	場所
7月7日 ~17日	野々市町 美術展後援	カメラア
7月29日・30日	野々市じよんからまつり協賛	フォルテ周辺
8月1日	文化協会だより 19号発行	町内全戸配布
10月28日 ~11月5日	ののいちマナビィ フェスタ2006協賛	中央公民館 フォルテ 郷土資料館
11月3日	文化協会表彰贈呈式	フォルテ
11月上旬	視察研修会	未定
11月25日・26日	ビッグアップルイン ののいち2006協賛	フォルテ
11.1月中旬	設立20周年 記念パーティー	フォルテ
3月17・18日	花と緑 ののいち 椿まつり2007	フォルテ 教育センター 郷土資料館